

2024年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

| | |
|--|--------|
| 授業科目名：財政学特論 | |
| 担当教員名：木立 力 | |
| <p>授業科目概要：</p> <p>日本の政府債務の対GDP比率は約2.5倍を超え、第2次世界大戦後の同比率を既に大幅に上回っている。歳出面の主な原因は世界で最も高い高齢化率に影響された社会保障費である。他方、歳入面では、国民所得比で見ると先進国で最も低い所得税比率や先進国で2番目に低い消費税率という現状がある。とりあげるテーマをいくつか例示すると、日銀の量的緩和政策によって日銀は国債をGDPを上回る規模まで保有しているが、その目的、メカニズム、効果。また日銀の国債購入によって財政規律が弛緩している可能性、今後金利が上昇した場合の政策。租税面では年収の壁が女性の働き方に及ぼす影響、等である。</p> <p>受講者が租税に関心がある場合には租税についての解説を多くするので事前に連絡をください。</p> | |
| <p>履修上の留意事項：</p> <p>財政問題に関心があること。</p> | |
| 教科書・参考書（参考文献） | |
| 書名：なし、配布資料による | 書名： |
| 著者／編者： | 著者／編者： |
| 出版社： | 出版社： |
| 出版年： | 出版年： |
| 書名： | 書名： |
| 著者／編者： | 著者／編者： |
| 出版社： | 出版社： |
| 出版年： | 出版年： |
| 書名： | 書名： |
| 著者／編者： | 著者／編者： |
| 出版社： | 出版社： |
| 出版年： | 出版年： |
| <p>評価方法及び判定基準：</p> <p>受講者が興味をもった課題について、講義において紹介した分析手法を用いて分析した結果をレポートにして提出する。レポートの結果で評価する。</p> <p>毎回出席することが評価の前提となる。</p> | |
| <p>授業目標及び進め方：</p> <p>日本の財政の制度や現状を知るだけでなく、背景にある経済理論や分析手法の意味を理解することによって、報道される現状について自ら考察する力を高めることを目標とする。</p> <p>毎回、財政の現状と分析手法（意味を重視）の紹介を講義形式で行う。</p> | |

◆ 授業進行計画

| | |
|-------------|--|
| 第1回 | <p>テーマ：日本の財政の概観①</p> <p>内 容： 「日本の財政関係資料」財務省、 http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/</p> |
| 第2回 | <p>テーマ：日本の財政の概観②</p> <p>内 容： 「日本の財政関係資料」財務省、</p> |
| 第3回 | <p>テーマ：日本の財政の外観③</p> <p>内 容： 「日本の財政関係資料」財務省、</p> |
| 第4回 | <p>テーマ：国と地方の財政関係</p> <p>内 容： 地方交付税、地方税など 『地方交付税のあらまし』総務省</p> |
| 第5回 第6回 | <p>テーマ：経済理論からみた財政</p> <p>内 容：財政の問題への経済学のアプローチ 作成資料</p> |
| 第7回 | <p>テーマ：費用便益分析</p> <p>内 容：費用便益分析の基本的な手法と考え方 作成資料</p> |
| 第8回 | <p>テーマ：経済学からみた租税</p> <p>内 容：租税の経済理論 作成資料</p> |
| 第9回 | <p>テーマ：消費税</p> <p>内 容：消費税の制度と理論 作成資料など</p> |
| 第9回 | <p>テーマ：所得税</p> <p>内 容：所得税の制度と理論 作成資料など</p> |
| 第10回 | <p>テーマ：法人税、相続税</p> <p>内 容：法人税・相続税の制度と理論 作成資料など</p> |
| 第11～15 回 | <p>テーマ：時事的なテーマ</p> <p>内 容： 教科書／参考書</p> |